



糖尿病看護の認定看護師が誕生しました



当院外来勤務の押目仁美看護師が、糖尿病看護の認定看護師に認定されました。岡山県北で初の認定であり、より充実した糖尿病治療体制と総合的ケアの提供ができるようになりました。

特定の看護分野において、研修を受け審査を通った者が認定を受けることができます。看護場面において、実践・指導・相談の3つの役割を果たすことにより看護ケアの広がりや質の向上を図ることに貢献します。認定看護師の分野は糖尿病看護を含めて21分野あります。

- 1 実践** 個人、家族及び集団に対して、熟練した看護技術を用いて水準の高い看護を実践する。
- 2 指導** 看護実践を通して看護職に対して指導を行う。
- 3 相談** 看護職に対してコンサルテーション(相談)を行う。

認定看護師とは？

認定看護師の役割

指導をする
押目看護師

『糖尿病看護認定看護師として』

岡山県立大学糖尿病看護認定看護師課程の1期生として、平成23年6月から翌年3月まで、月曜日から水曜日までは病院で勤務し、週末の3日間は大学に通いました。24名の仲間と励まし合い、時には泣き、笑い、怒り、とことん話し合いながら学んできました。講義の後には、看護学生のように臨地実習があり、島根医科大学附属病院で5週間の実習もありました。落合病院では出会うことのない疾患を持った患者様に接し、今まで自分の行ってきた看護を振り返ることで、新たな看護観を持つようになり、この資格を得ることが出来たのは、職場と家族の理解と協力があってからです。ただ、資格を得たからといって決して糖尿病看護を極めたわけではなく、今後も試行錯誤を繰り返しながら患者様と向き合い続けながら悪戦苦闘の日々を送っていくことと思います。時に励まされながら、時に己を怒り、落ち込み、また、同じ糖尿病看護を行う仲間を支えられながら、明るく前向きに頑張りたいと思っています。糖尿病の治療目的は、健康な人と変わらず本人らしい生活を維持、向上することです。長い療養生活を強いられる患者様のための、転ばぬ先の杖になると信じ、糖尿病患者様の支援を行っていきたいと思います。

TOPICS 1

当院で一緒に働きませんか？



7月29日(日)、看護進路ガイダンス・看護就職フェアがアルネ津山で開催され、当院もあわせて県北の19施設がブースを出展しました。看護学生をはじめ、未来の看護師をめざす中学生や高校生たちにパネルやパンフレット、動画を使って落合病院をPRしました。当院は岡山県の災害拠点病院に指定されており災害看護といった地域に密着した看護を実践していることなど、多くの方に興味をもって聞いていただきました。

TOPICS 2

楽しかった納涼祭



8月8日(水)、療養棟で恒例の納涼祭を開催しました。法被で着飾った職員有志の盆踊りに引き続き、紙風船をスイカに見立てたスイカ割りや盛り上がりました。紙風船が「パン」と割れる音とともに、明るい笑い声と手拍子がホールにあふれていました。最後にスイカの入ったフルーツポンチをいただき、夏を味わいました。午後ひと時を過ぎることができました。

TOPICS 3

地域清掃のお手伝い



7月29日(日)、2012年の地域清掃活動を行いました。この活動は、一昨年から実施している活動で、今年は落合花火大会の翌日に実施することにしました。病院周辺の道路を中心にかなり広範囲にごみを拾ってまわりましたが、花火大会関係者の皆様がすっかり清掃してくださっていて、ほとんどごみはありませんでした。それでも、大きなごみ袋に3袋ほどのごみが集まり、午前8時からさわやかな晴天のもと、日頃の運動不足の解消にも一役買ってくれました。

TOPICS 4

開運動会で運をつかむ！



7月15日(日)、真庭商工会青年部落合エリアの皆様が主催された第2回「開運動会」に、落合病院チームが出場しました。参加チーム40組、総勢約200名の華々しい大会に、急遽編成されたチームで放り込まれましたが、定番のリレーに加え、くじ引き&抽選会などのユニークな(運に左右される?)競技に助けられ、見事優勝することができました。白梅体育館の壁一面に手作りの応援ポスターが掲げられ、チャリダーが応援してくれる盛大な運動会でした。なにより賞金(結構な額)がうれしかったメンバーたちでした。

TOPICS 5

願いが叶いますように



当院では毎年、七夕の笹飾りを行っています。本物の竹を切り出して、患者様やご家族、職員の願いを込めた短冊が飾り付けられます。今年は、落合病院と向陽台病院の短冊をあわせて垂水神社に奉納し、土井宮司に願い事の成就を祈禱していただきました。

TOPICS 6

小さな美術館が開館



9月27日(木)から10月1日(月)にかけて、毎年恒例となった第9回落合まちかど展覧会が開催されました。当院も会場のひとつとして、「職員・患者・家族作品展」と題して玄関ホールに展示を行いました。職員や職員家族をはじめ、患者様や地域の皆様にも多数の作品をご提供いただき、また今年「落合病院メモリアルコーナー」を設けて、開院当時から写真や古い床頭台などの展示も行いました。今年も大勢の方にご覧いただき、好評のうちに終えることができました。

がんばれ!! 若いチカラ!! 未来の看護師をめざす真庭高校の実習生たち



私たち真庭高校専攻科2年生は、学生最後の実習となる総合実習の真っ最中です。落合病院では、母性看護実習として、妊娠・分娩・産褥各期の母性および新生児の特徴を理解し、その看護を学ぶため、小児科、産婦人科、新生児室、褥室で2週間の実習を行っています。一人の女性の妊娠から分娩、産褥期を通して、母性とは本当にたくましく愛情あふれるものであることを知り、また、小さな生命が誕生して胎外生活に適応していく過程に触れ、人の生命の尊さについて深く考える機会となりました。来春には看護師国家試験を受験し社会に出て行きます。この実習で得た学びを活かし、残りの学生生活はしっかり勉強して行きたいと思っています。